

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 15 - 1

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		消防団活性化事業					
評価者	担当課名	消防		担当係名	庶務係		
	管理職	職名	支署長(課長)		職名	係長	
		氏名	渡邊 孝司		作成者	氏名	安本 明志美
事業の概要		消防団員の加入促進を図りながら、訓練・研修を重ね、災害時における町民の生命財産を守るべく消防団員の活性化を図る事業				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 20,400 千円 事業費計 20,400 千円	
実施方法		■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け		政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
		基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化				
		単 位 施 策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化				
		事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
		その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	3,920 千円	4,720 千円	3,920 千円	3,920 千円	3,920 千円	
	合 計	3920 千円	4720 千円	3920 千円	3920 千円	3920 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	団 員(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	若年層の新規入団を望んでいるが、地元での就職が減少しているため、消防団入団の魅力をアピールすることが、課題である。	消防団員数の確保、訓練等による組織の活性化	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	若年層が入団し、これにより消防団が活性化され、火災や災害現場での活動が、迅速なものとなり、また各種訓練においても、有意義なものになることを目指し、新規入団を呼び掛けた。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
		① 団員総数	目標年度 24年度
			目標値 102
			実績値 102
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	結果、新規入団者6名となり、そのうち1名は女性で、女性消防団員数は6名となった。女性消防団員10名、雄武消防団員総数(女性を併せて)110名の定員を実現したい。	② 女性団員数	目標年度 24年度
			目標値 6
			実績値 6
		達成度 100 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)			
広報活動	雄武町広報誌及び、チラシ等の配布		
呼びかけ	団幹部から、協力事業所等への呼びかけ		
被服支給	新入団員に被服を配布(災害現場活動をするため特殊被服) 20年度 6名入団		
福利厚生	毎月消防新聞を購入配布		
訓練費	災害を想定した訓練時に出勤費を支給		

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	町民の生命財産を災害から守るため、各種訓練・研修を通じ団員の技術の向上を目指す上においても、必要とされる。また、団員の中も高齢化が進む中、若年層の新規入団も必要とされる。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	訓練及び技術向上を目指すべく、各種研修会の出勤率についてはほぼ達成されているが、新規入団については、110名定員のところ102名と下回るが、目標年度24年に向けての20年度6名入団については、ほぼ達成されたものとする。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	研修日数を削減し、訓練回数を増やすことにより、団員の技術や精神面が向上したことにより、災害現場での活動がスムーズとなり、結果時間短縮につながったものとする。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	事業は全町民を対象とした事業により、公平と考える。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 定員数110名を24年度までに目指している中、20年度の入団6名はほぼ目標が達成されたものと言える。また、訓練や研修についてもスムーズに行われていることから、計画どおり実施したい。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持 実定員110名また、女性消防団員の増員を目指しながら、訓練や研修を重ね、技術の向上を目指し災害時において、町民に被害を軽減を目指す、実員数を下げた中でも、1人が2以上に力を発揮できる訓練を、今後の課題とし、展開していきたい。		
--	--	--

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 15 - 4

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		消防施設整備事業					
評価者	担当課名	消防		担当係名		庶務係	
	管理職	職名	支署長(課長)	作成者	職名	係長	
		氏名	渡邊 孝司		氏名	安本 明志美	
事業の概要	消防庁舎の高圧受電設備については、設置後35年が経過しており老朽化が著しいことから、改修事業を実施するものです。					全体計画 (平成 20 年度～ 20 年度)	
						国・道支出金	千円
						地方債	千円
						その他	千円
						一般財源	2,919 千円
						事業費計	2,919 千円
実施方法	■ 直 営		民間委託		その他 ()		
第 5 期 総 合 計 画 (前 期)		■ 登 載 事 業		非 登 載 事 業		優先度	B
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～					
	基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化					
	単 位 施 策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	3,000 千円	千円	千円	千円	千円	
	合 計	3000 千円	千円	千円	千円	千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	消防施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	電気設備の老朽化	火災等町民伝達及び救急出動の基盤確保			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	電気設備の改築	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		① 工事施行数	目標年度	20年度	
			目標値	1	
			実績値	1	
達成度	100.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	受電設備の安定化	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
指名競争入札	町内業者を含めた指名競争入札の実施。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	老朽化に伴う受電設備の改修により、施設維持が確保された。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	安定的な電気供給がなされた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率 的／課題あり	判断の理由	指名競争入札を行い、的確な発注業務を行った。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町有財産の維持が確保された。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
初期の目標が達成された。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
定期的な維持管理により施設の延命を図る。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 15 - 5

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	消防車両更新事業					
評価者	担当課名	消防		担当係名	庶務係	
	管理職	職名	支署長(課長)	作成者	職名	係長
		氏名	渡邊 孝司		氏名	安本 明志美
事業の概要	消防指令広報車両については、配置から19年経過し、年々維持管理が増嵩し、部品調達においても苦慮していること又、現有車両が後輪駆動車であり、冬期間の災害出動において支障をきたしていることから、これを更新する。				全体計画 (平成 20 年度～ 20 年度) 国・道支出金 千円 地方債 4,400 千円 その他 千円 一般財源 98 千円 事業費計 4,498 千円	
実施方法	■ 直 営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総 合 計 画 (前 期)		■ 登 載 事 業		非 登 載 事 業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化				
	単 位 施 策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	4,720 千円	千円	千円	千円	千円
	合 計	4720 千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	消防車の老朽化	緊急時における機動力の確保向上		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	災害現場への緊急出動及び車両維持管理費の軽減	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
		① 車両台数(1台)	目標年度 20年度	
			目標値	1
			実績値	1
達成度	100.0 %			
【その結果、どのような成果を実現したのか】 ※成果=目的	機動力の強化	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
指名競争入札	四輪駆動及びハイブリッド車			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	消防の使命である、災害から住民の生命財産を守るために必要。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	維持管理費の軽減が図られる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率 的／課題あり	判断の理由	指名競争入札を行い、的確な発注業務を行った。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	




(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	災害時の出動において迅速な対応が可能となった。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
初期の目標が達成された。		

今後の展開方向 (Action)			
	終了 適正な維持管理。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--